

《参考資料：グローバルリーダーズキャンパス概要及びゲイリー・ムカイ氏について》

○グローバルリーダーズキャンパスとは

- ・世界トップクラスの大学である米国スタンフォード大学と連携し、県内高校生向けのオンライン遠隔講座を平成28年度から開設。本年度で7年目。
- ・幅広い国際感覚を身に付け、実践的な英語力をさらに伸ばすとともに、世界を視野に入れて活躍する高い意欲と志を持った人材の育成を図ることを目的としている。
- ・このプログラムでは、スタンフォード大学が、日本の高校生向けに開設している国際異文化教育に関する遠隔学習コース「Stanford e-Japan」を、鳥取県内の高校生を対象としたカリキュラムにカスタマイズ。生徒は主に自宅で、PCやタブレット型端末を利用して受講する。
- ・講座のテーマは、米国の社会文化や日米に共通する課題等を中心に10項目程度を予定。
〈令和4年度講座テーマ（予定）〉

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・日米の教育事情・アメリカにおける起業家精神・人生における失敗との向き合い方・SDGs（持続可能な開発目標） | <ul style="list-style-type: none">・日米におけるマンガ（アニメ）文化・日米に共通する地域課題（高齢化や人口減少）・グローバル社会における多様性 |
|---|--|

- ・オンライン講座形式でのインターネット対面型講義及び意見交換・議論は、1講座あたり90分間で構成。
- ・日本語や日本文化を学ぶ米国人高校生との意見交換・ディスカッションも予定。
- ・講座回数は11講座程度を予定。（令和4年9月～令和5年3月）
- ・プログラム受講修了者には、スタンフォード大学から修了認定証が授与される。
- ・国内の自治体で、このような遠隔連携講座を実施したのは鳥取県が初。
- ・鳥取県の取組をモデルにしたスタンフォード大学との連携プログラムを、広島県、大分県、川崎市、神戸市、福岡県が立ち上げた。

○スタンフォード大学国際異文化教育プログラム所長ゲイリー・ムカイ氏について

【略歴】

- ・1977年から3年間、群馬県太田市内の各学校での英語指導を経験
- ・1981年に、スタンフォード大学国際発展教育の修士号を取得
- ・アジア太平洋地域と日米関係に関する著書・論文多数
- ・1997年には、アジアと日米関係に関する教材開発の功労者として、フランクリン・ブキャナン賞を受賞
- ・1989年から継続してサンフランシスコ日本総領事館でJETプログラムの面接官を務めている。
- ・ゲイリー・ムカイ氏は、日米の人物交流及び相互理解促進に寄与したとして、平成29年内閣府から、秋の外国人叙勲として旭日双光章を受勲されている。